

## 2021 年度日本海洋学会秋季評議員会議事録

日時:2021 年 9 月 6 日(月)15:00~17:00

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、相木、青木、安藤、井桁、石井、石坂、市川、伊藤(幸)、上野、植原、植松、梅澤、江淵、大島、大林、岡(英)、乙坂、小埜、小畑、郭、川合(美)、川合(義)、河宮、北出、轡田、久保川、小松、根田、宗林、高橋、武田、張、津田、東塚、中村、西岡、林、原田、日比谷、広瀬、本多、升本、見延、森本、安田(一)、安田(珠)、安中、吉江 各評議員(50 名)

岩本編集委員長、帰山広報委員長、多田研究会会長、田所研究会会長、中野西南支部支部長、福田研究会会長、吉田編集委員長、岡(顕)幹事、土井幹事、中野(英)幹事、西部幹事、野口幹事、三角幹事、毎日学術フォーラム(平坂)

委任状:小川、須賀、鈴木、千葉、吉川 各評議員(5 名)

開会に先立ち、三角集会担当幹事より、出席者 50 名、委任状 5 通で評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

### 議題

#### 1. 会長挨拶(神田会長)

評議員会開催に先立ち、神田会長より挨拶があった。

新型コロナ感染拡大が続いており、評議員会もオンラインの開催が 4 回目となったことが述べられた。今年度は日本海洋学会創立 80 周年であり、来週から東大大気海洋研が事務局となり実施される秋季大会にて 80 周年記念シンポジウムが開催されることが述べられた。国連海洋科学の 10 年がスタートし、国内・国外問わず様々な取り組みが始まっていることが述べられた。研究に関する将来構想 WG で精力的に活動が行われ、7 本の総説論文に成果が取りまとめられたことが述べられた。その内容について 80 周年記念シンポジウムで議論を行うことを予定していることが述べられた。

6 月 17 日に山形名誉会員が第 62 回藤原賞を「短期気候変動現象の物理機構の解明とその予測に関する先駆的研究」というタイトルで受賞したことが述べられ、祝意が示された。

今後、日本海洋学会の法人化、表彰等について学会から推薦する際の規定や情報保護に関する規定について、幹事会を中心に取り組んで行くことが述べられた。

#### 2. 報告事項

##### 1) 会務報告

庶務(乙坂幹事)

会員の異動状況について報告された。

## 編集

### ① JO(江淵編集委員長)

JO Vol. 75(1)から Vol. 77(5)までの発行状況について報告された。また、2016年から2021年8月までの論文の投稿・受理状況について報告された。

特別セクションの編集状況について報告された。

掲載料の請求方法について、請求時期をなるべく早めるよう手続きを改善したことが報告された。

### ② 海の研究(吉田編集委員長)

2021年度の投稿・受理状況について報告された。

特別セクションの編集状況について報告された。

### ③ JOS ニュースレター(岩本編集委員長)

2021年度発行状況、今後の発行予定について報告された。

日本海洋学会 80周年記念号が2022年2月1日に発行される予定であることが報告され、安藤前編集委員長に特別編集委員を委嘱することが報告された。

## 研究発表(土井幹事)

2021年度春季大会の実施について報告された。

2021年度の秋季大会、2022年度の春季大会の開催予定について報告された。

## 賞選考

### ① 学会賞・岡田賞・宇田賞(武田委員長)

選考状況について報告された。

### ② 日高論文賞・奨励論文賞(升本委員長)

選考状況について報告された。

### ③ 環境科学賞(河宮委員長)

選考状況について報告された。

## 選挙管理(中野幹事)

選挙をオンライン化することについて検討を行っていることが報告された。

## 広報委員会(帰山委員長)

JpGU2021にてオンラインブース展示、クイズラリーへの参加を行ったことが報告された。

海洋学会のエコバッグを作成したことが報告され、今後、学会の広報活動で活用していくことが報告された。

#### 海洋環境委員会(梅澤委員長)

7月に青い海研究助成(緊急提案型)について募集したが、現時点では応募がないことが報告された。

#### 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂委員長)

一部の節の改訂にむけて作業を進めていることが報告された。

#### 西南支部(中野支部長)

11月22日に九州沖縄地区合同シンポジウム「海洋学・生物地球化学と水産資源研究の融合に向けて」がハイブリッド形式(現地会場は長崎大学)で開催されることが報告された。

#### 海洋環境問題研究会(福田研究会会長)

5月12日にオンラインで総会が開催され、福田研究会会長が選任されたことが報告された。  
今後のシンポジウムの開催や、沿岸環境調査マニュアルの改訂版の出版の準備を進めていることが報告された。

#### 沿岸海洋研究会(多田研究会会長)

8月20日に委員会がオンラインで開催されたことが報告された。  
現在の会員数、秋季大会でのシンポジウムの開催、「沿岸海洋研究」の発行状況について報告された。

#### 海洋生物学研究会(田所研究会会長)

海洋生物シンポジウム2022を3月下旬にオンラインもしくはハイブリッド形式で開催予定であることが報告された。水産海洋学会、日本プランクトン学会との共催を予定していることが報告された。

#### 教育問題研究会(轡田研究会会長代理)

8月10、11日に教員免許状更新事業への講師派遣を行ったことが報告された。  
8月9日にオンラインで行われた女子中高生夏の学校2021に参加し、ポスター展示とキャリア相談を行ったことが報告された。  
海の出前授業の実施状況について報告された。  
海洋教育学会設立準備会に協力していることが報告された。  
後期の活動として、11月7日にサイエンスアゴラ2021への出展、秋季大会でのポスターセッション、サイエンスカフェ等が予定されていることが報告された。

絶版になった「海のトリビア」について内容を改めて再出版する方向で検討が進められていることが報告された。

#### ブレークスルー研究会(岡幹事)

研究会の活動状況について報告された。

#### 研究に関する将来構想ワーキンググループ(高橋幹事)

海洋学の10年展望2021のとりまとめ状況について報告された。パブリックコメント、査読意見を踏まえ、改訂が進んでいることが報告された。9月中旬までに原稿をまとめて学会ホームページ上で紹介するとともに、9月13日に行われる80周年記念シンポで内容を紹介し、議論する予定であることが報告された。

分野横断型の総説をまとめていくなかで明らかになった、分野外の人にとってわかりにくい用語について用語集を作成し、学会ホームページ上に掲載する予定であることが報告された。

#### 日本海洋学会80周年記念事業(乙坂幹事)

9月13日に開催する記念シンポジウムの準備状況、記念誌の発行、記念品の製作状況について報告された。

## 2) 学界関連報告

#### 学界動向(伊藤副会長)

学界関連の動向について報告された。詳細についてはJOSニュースレターに掲載される。

#### 日本地球惑星科学連合(三角幹事)

JpGUの代議員選挙の立候補・推薦の受け付けについて報告された。

2022年大会の開催概要、2021年大会のアンケート結果について報告された。

#### 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

11月12日に日本学術会議の公開シンポジウムが開催される予定であることが報告された。

#### 大型研究計画について(日比谷会員)

6月26日にマスタープラン2023を見据えた研究計画の募集とヒアリングが、日本学術会議の地球惑星科学委員会の主催で行われたことが報告された。

#### 国連海洋科学の10年について(植松会員)

国連海洋科学の10年の関わる動きについて報告された。

## 3. 審議事項

### 1) 2022年度秋季大会について(土井幹事)

2022 年秋季大会の実施について審議され、原案の通り承認された。

2) 名誉会員の推薦について(乙坂幹事)

名誉会員 2 名の推薦について審議され、原案の通り承認された。

3) 寄付の受け入れについて(神田会長)

寄付の受け入れとそれに基づく新たな賞の新設について審議され、原案の通り承認された。

今後、賞選考の基準等について具体案の作成を進める事になった。

4) 法人化に向けた具体案について(神田会長)

日本海洋学会の一般社団法人化に向けた具体案の作成を進めることについて審議され、原案の通り承認された。

5) 沿岸海洋研究会会則変更について(多田研究会会長)

沿岸海洋研究会の会則変更について審議され、原案の通り承認された。

6) 海洋環境の事典(仮題)の出版事業について(伊藤副会長)

海洋環境の事典(仮題)の出版事業について審議され、原案の通り承認された。

以上